

施設調査シート

施設名	鶴ヶ島市立鶴ヶ島中学校		所在地	埼玉県鶴ヶ島市大字脚折1868番地5	
所管部署	教育部 学校教育課				

1 施設の概要

設置目的	小学校における教育の基礎の上に、心身の発達に応じて、中等普通教育を実施するため。					
設置根拠法令等	学校教育法、中学校設置基準					
施設開設時期	昭和22年	施設職員数 (H22.4.1)	※指定管理者制度導入及び運営委託施設は、委任先の企業、団体等が配置している職員数		正職員 24 人 その他 4 人	
現建物当初建設費	1,321,020,000円 ※H23.4.1現在の当該学校施設全体の再調達価格					
施設運営方法 (施設の維持管理等の 運営方法)	☐ 直営					
	☒ 直営 (一部業務委託)	(委託内容)	空調設備保守点検、警備保障、清掃、小荷物昇降機保守点検、自家用電気工作物保安、消防設備保守点検、浄化槽維持管理、受水槽保守管理、窓ガラス清掃、プールろ過装置保守点検、自家用電気工作物保安業務、給食配膳室消毒			
	☐ 指定管理者	(名称)				
敷地	敷地面積	32,343.00 m ²		(筆数)	3 筆	
	用途地域	無指定		防火地域	☐ 防火地域 ☐ 準防火地域 ☒ 指定なし	
現在の建物	竣工年月	昭和52年3月	改修年月	☐ 有 () ☒ 無		
	建築面積	2,683.00m ²	延床面積	7,981.00m ²	階数 地上4階	
	構造	☐ SRC ☒ RC ☐ S				
電気設備	受電設備	☐ オープン ☐ フレーム ☒ キュービクル ☐ その他 ()				
	受電設備容量	250 KVA				
	自家発電設備	☐ 高圧 KVA	☐ 低圧 KVA	合計 0 台	☒ 無	
	受電方式	☒ 一号柱 ☐ ピラー ☐ その他 ()				
	主要盤類	☒ 配電盤 1 面 ☒ 電灯分電盤 2 面 ☒ 動力制御盤 1 面				
	変圧器	☒ 有 (合計 3 台・合計 250 KVA) ☐ 無				
	蓄電池設備	☐ 非常用 ☐ その他 合計 0 台 ☒ 無				
	昇降機設備	☐ エレベーター 台 ☒ 小荷物専用 1 台 ☐ その他 () 台				
	備考					
空調設備 (概要)	空調方式	☐ 中央 ☒ 個別 ☐ 併用 ☐ 無				
	熱源機器	☐ ボイラー kw	熱源	☐ 都市ガス ☐ プロパン ☐ 油		
		☐ 冷温水発生機 kw		☐ 電気 ☐ その他 ()		
		☐ 冷凍機 kw		☐ 都市ガス ☐ 油 ☐ その他 ()		
		☒ パッケージユニット		☒ 電気 ☐ その他 ()		
		☐ ヒートポンプ		☐ 電気 ☐ その他 ()		
		☐ その他 ()				
	ソーラーシステム	☐ 有 ☒ 無	蓄熱槽	☐ 有 ☒ 無	中央監視装置	☐ 有 ☒ 無
	備考					
衛生設備	給水方式	☐ 直結 ☒ 高置水槽 ☐ 圧力タンク ☐ ポンプ直送 ☒ その他 (受水槽)				
	給湯方式	☐ 中央方式 (☐ 貯湯ボイラー式 ☐ ソーラーシステム式) ☒ 局所方式 (☐ 貯湯式 ☒ 瞬間式) ☐ 併用方式 ()				
	排水処理	(校舎:合併処理浄化槽 451人槽・体育館:単独処理浄化槽 80人槽・プール:合併処理浄化槽 20人槽) ☐ 合流 ☐ 分流 ☒ その他				
	プール設備	☒ 有 ☐ 無		中水設備	☐ 有 () ☒ 無	
	備考					
ガス設備	供給方式	☒ LPG ☐ 都市ガス (☐ 中圧 ☐ 低圧 ☐ 併用)				
	しゃ断弁	☒ 有 ☐ 無				
	備考					
防災設備	火災報知器	☒ 有 (受信機 1 窓 副受信機 台) ☐ 無				
	非常放送設備	☐ 有 ☒ 無		排煙設備	☐ 有 ☒ 無	
	連動装置	☐ 防火シャッター ☒ 防火戸 ☐ その他 () ☐ 無				
	消火設備	☒ 屋内消火栓 ☐ 屋外消火栓 ☐ スプリンクラー ☐ 泡消火 ☐ 水噴霧 ☐ 新ハロン ☐ 二酸化炭素 ☐ 粉末 ☐ ドレンチャー ☒ その他 (消火器)				
	備考					
その他機械設備						

2 施設利用状況

	H19年度	H20年度	H21年度	利用者の傾向（年齢層・地域性・利用の多い理由等）
総利用人数	400人	380人	407人	
各室利用人数				
生徒数（1年）	138人	122人	146人	
生徒数（2年）	119人	139人	121人	
生徒数（3年）	143人	119人	140人	
	人	人	人	
	人	人	人	

3 建設当時の記録及び施設の現状等

施設建設の経緯		・昭和22年新教育制度の発足に伴い、現在の鶴ヶ島第一小学校の一隅に、鶴ヶ島村唯一の新制中学校として誕生し、昭和26年現在地に木造2階建て校舎が完成した。 ・昭和40年以降の急激な人口増加に伴う生徒数の急増に対応するため、新校舎を建設し昭和54年4月より運用開始。 ・昭和55年 校歌碑落成・除幕式。 ・平成8年 創立50周年式典に伴い記念碑の建立、記念樹の植樹が行われた。			
来館者用駐車場	☒ 有（収容台数：35台） ☐ 無				
借地・寄附・補助金等	借地の有無	☐ 有（面積） m ² （筆数） 筆（地権者数） 人 【 ☐ 敷地全体 ☐ 駐車場のみ ☐ その他（ ）】			
		☒ 無			
	寄附の有無	☐ 有（内容）			
		☒ 無			
建設費補助金の有無		☒ 有（156,605,000円） ☐ 無			
鶴ヶ島市地域防災計画における避難所指定の有無		☒ 有 ☐ 無			
施設利用者の要望・意見等		・防災設備が老朽化しているため改修してほしい ・雨漏りを修繕してほしい ・校舎と体育館との通路に屋根を設置してほしい			
施設運営上の問題点等		・校舎全体が老朽化しているため大規模な改修が必要 ・空調の設置			
その他施設情報		・屋内運動場 建築年月：昭和46年2月（昭和62年大規模改造） ・校舎耐震補強 平成18年度実施			

◆空調設備(詳細)

空調方式	☐ 中央	☒ 個別	☐ 併用	☐ 無
------	-----------------------------	--	-----------------------------	----------------------------

◆学校(鶴ヶ島中学校)

	部屋数 ①	①のうち空調 有の部屋数	熱源機器の種類	熱源の種類
普通教室(特別支援学級除く)	12	0	無し	無し
特別支援学級	2	0	無し	無し
特別教室	18	0	無し	無し
コンピュータ教室	1	1	パッケージユニット 29800kcal/h	電気
校長室・職員室・事務室・保健室	4	4	パッケージユニット	電気
会議室・教材室	2	0	無し	無し
多目的室	4	0	無し	無し
小人数学習室	1	0	無し	無し

◆舞台のある部屋の設備

部屋名	体育館		
-----	-----	--	--

設 備	有 無	数量等	概 要
舞台	☒ 有 ☐ 無	50.2 m ²	
舞台照明	☒ 有 ☐ 無	一式 基	スタンド式スポットライト2基 その他蛍光灯
プロジェクター	☐ 有 ☒ 無	台	
スクリーン	☒ 有 ☐ 無	10.5 m ²	縦3m×横3.5m
音響設備	☒ 有 ☐ 無	1 式	アンプ panasonicWA760, RAMSAWP-9110 イコライザ panasonicWZ-9311 ワイヤレスレシーバ panasonicWX-4020, WX-3020 スピーカー national sonoline2台 RAMSA WS-A70K2台 マイクpanasonicWX-4100

記入した設備・備品の故障の有無及び状況

施 設 調 査 シ ー ト

施設名	鶴ヶ島市立藤中学校		所在地	埼玉県鶴ヶ島市大字藤金272番地1	
所管部署	教育部 学校教育課				

1 施設の概要

設置目的	小学校における教育の基礎の上に、心身の発達に応じて、中等普通教育を実施するため。					
設置根拠法令等	学校教育法、中学校設置基準					
施設開設時期	昭和54年4月	施設職員数(H22.4.1) ※指定管理者制度導入及び運営委託施設は、委任先の企業、団体等が配置している職員数		正職員	26人 その他 4人	
現建物当初建設費	1,151,670,000円 ※H23.4.1現在の当該学校施設全体の再調達価格					
施設運営方法 (施設の維持管理等の運営方法)	☐ 直営					
	☒ 直営(一部業務委託)	(委託内容)	警備保障、清掃、小荷物昇降機保守点検、自家用電気工作物保安、消防設備保守点検、浄化槽維持管理、受水槽保守管理、窓ガラス清掃、プールろ過装置保守点検、自家用電気工作物保安業務、給食配膳室消毒			
	☐ 指定管理者	(名称)				
敷地	敷地面積	34,907.00㎡		(筆数)	3筆	
	用途地域	無指定		防火地域	☐ 防火地域 ☐ 準防火地域 ☒ 指定なし	
現在の建物	竣工年月	昭和54年3月	改修年月	☐ 有 () ☒ 無		
	建築面積	1,716.00㎡	延床面積	8,651.00㎡	階数 地上4階	
	構造	☐ SRC ☒ RC ☐ S				
電気設備	受電設備	☐ オープン ☐ フレーム ☒ キュービクル ☐ その他 ()				
	受電設備容量	250 KVA				
	自家発電設備	☐ 高圧 KVA	☐ 低圧 KVA	合計	0台 ☒ 無	
	受電方式	☒ 一号柱 ☐ ピラー ☐ その他 ()				
	主要盤類	☒ 配電盤 1面 ☒ 電灯分電盤 2面 ☒ 動力制御盤 1面				
	変圧器	☒ 有 (合計 3台・合計 250 KVA) ☐ 無				
	蓄電池設備	☐ 非常用 ☐ その他 合計 0台 ☒ 無				
	昇降機設備	☐ エレベーター 台 ☒ 小荷物専用 1台 ☐ その他 () 台				
	備考					
空調設備 (概要)	空調方式	☐ 中央 ☒ 個別 ☐ 併用 ☐ 無				
	熱源機器	☐ ボイラー kw	熱源	☐ 都市ガス ☐ プロパン ☐ 油		
		☐ 冷温水発生機 kw		☐ 電気 ☐ その他 ()		
		☐ 冷凍機 kw		☐ 都市ガス ☐ 油 ☐ その他 ()		
		☒ パッケージユニット		☐ 電気 ☐ その他 ()		
		☐ ヒートポンプ		☐ 電気 ☐ その他 ()		
		☐ その他 ()				
	ソーラーシステム	☐ 有 ☒ 無	蓄熱槽	☐ 有 ☒ 無	中央監視装置	☐ 有 ☒ 無
	備考					
衛生設備	給水方式	☐ 直結 ☒ 高置水槽 ☐ 圧力タンク ☐ ポンプ直送 ☒ その他(受水槽)				
	給湯方式	☐ 中央方式 (☐ 貯湯ボイラー式 ☐ ソーラーシステム式) ☒ 局所方式 (☐ 貯湯式 ☒ 瞬時式) ☐ 併用方式 ()				
	排水処理	☐ 合流 ☐ 分流 ☒ その他 (校舎:合併処理浄化槽 375人槽・プール:単独分離ばっ気浄化槽 21人槽)				
	プール設備	☒ 有 ☐ 無		中水設備	☐ 有 () ☒ 無	
	備考					
ガス設備	供給方式	☒ LPG ☐ 都市ガス (☐ 中圧 ☐ 低圧 ☐ 併用)				
	しゃ断弁	☒ 有 ☐ 無				
	備考					
防災設備	火災報知器	☒ 有 (受信機 1窓 副受信機 台) ☐ 無				
	非常放送設備	☐ 有 ☒ 無		排煙設備	☐ 有 ☒ 無	
	連動装置	☒ 防火シャッター ☐ 防火戸 ☐ その他 () ☐ 無				
	消火設備	☒ 屋内消火栓 ☐ 屋外消火栓 ☐ スプリンクラー ☐ 泡消火 ☐ 水噴霧 ☐ 新ハロン ☐ 二酸化炭素 ☐ 粉末 ☐ ドレンチャー ☒ その他(消火器)				
	備考					
その他機械設備						

2 施設利用状況

	H19年度	H20年度	H21年度	利用者の傾向（年齢層・地域性・利用の多い理由等）
総利用人数	481人	485人	474人	
各室利用人数				
生徒数（1年）	167人	157人	151人	
生徒数（2年）	164人	165人	157人	
生徒数（3年）	150人	163人	166人	
	人	人	人	
	人	人	人	

3 建設当時の記録及び施設の現状等

施設建設の経緯		・昭和40年以降の急激な人口増加に伴い鶴ヶ島中学校の生徒数が急増したため、昭和54年4月から藤中学校として分離開校する。 ・開校当初 学級数：18学級 児童数710名	
来館者用駐車場	☒ 有（収容台数：55台） ☐ 無		
借地・寄附・補助金等	借地の有無	☐ 有（面積） m ² （筆数） 筆（地権者数） 人 【 ☐ 敷地全体 ☐ 駐車場のみ ☐ その他（ ）】	
		☒ 無	
	寄附の有無	☐ 有（内容）	
		☒ 無	
建設費補助金の有無		☒ 有（384,750,000円） ☐ 無	
鶴ヶ島市地域防災計画における避難所指定の有無		☒ 有 ☐ 無	
施設利用者の要望・意見等		・校舎外壁の剥離による鉄筋露出箇所を修繕してほしい ・雨漏りを修繕してほしい ・電気設備やトイレなど様々な設備が突然故障することが多いため全体的な改修をしてほしい ・空調の設置	
施設運営上の問題点等		・校舎全体が老朽化しているため大規模な改修が必要	
その他施設情報		・屋内運動場 建築年月：昭和54年3月 ・校舎地震補強 平成20年度実施	

◆空調設備(詳細)

空調方式	☐ 中央	☒ 個別	☐ 併用	☐ 無
------	-----------------------------	--	-----------------------------	----------------------------

◆学校(藤中学校)

	部屋数 ①	①のうち空調 有の部屋数	熱源機器の種類	熱源の種類
普通教室(特別支援学級除く)	15	0	無し	無し
特別支援学級	1	0	無し	無し
特別教室	17	0	無し	無し
コンピュータ教室	1	1	パッケージユニット 13500kcal/h	電気
視聴覚室	3	0	無し	無し
校長室	1	1	パッケージユニット 11.2kw	電気
事務室	1	1	パッケージユニット 8kw	電気
職員室・保健室	2	2	パッケージユニット	電気
会議室	3	0	無し	無し
学年室	3	0	無し	無し
多目的室	1	0	無し	無し

◆舞台のある部屋の設備

部屋名	体育館
-----	-----

設 備	有 無	数量等	概 要
舞台	☒ 有 ☐ 無	126.0 m ²	
舞台照明	☒ 有 ☐ 無	一式 基	・スポットライト1基・スタンド式スポットライト3基
プロジェクター	☒ 有 ☐ 無	2 台	・エプソン1台、NEC1台
スクリーン	☒ 有 ☐ 無	3.0 m ²	・移動式簡易スクリーン(縦1.5m×横2m)
音響設備	☒ 有 ☐ 無	一式	・パワーアンプ National・スピーカー(舞台袖2台、後に2台) ・録音、再生機器(CDMD) Victor Xv-D400 MKII ・Diversity :wireless Receiver WX4020(同じものが2台)

記入した設備・備品の故障の有無及び状況

- ・スピーカー 故障→4台を使用すると拡散して聞こえにくい。舞台袖の2台だけで使用した場合、音が割れるがなんとか使える状態。
- ・プロジェクター 故障→1台は音が出ない。もう1台は音が良くない。
- ・Diversity :wireless Receiver 故障→一台は故障していて全く使用できない。

施設調査シート

施設名	鶴ヶ島市立富士見中学校		所在地	埼玉県鶴ヶ島市富士見二丁目36番地1号	
所管部署	教育部 学校教育課				

1 施設の概要

設置目的	小学校における教育の基礎の上に、心身の発達に応じて、中等普通教育を実施するため。				
設置根拠法令等	学校教育法、中学校設置基準				
施設開設時期	昭和56年4月	施設職員数 (H22.4.1)	※指定管理者制度導入及び運営委託施設は、委任先の企業、団体等が配置している職員数		正職員 21 人 その他 4 人
現建物当初建設費	944,170,000円 ※H23.4.1現在の当該学校施設全体の再調達価格				
施設運営方法 (施設の維持管理等の運営方法)	☐ 直営				
	☒ 直営 (一部業務委託)	(委託内容)	警備保障、清掃、小荷物昇降機保守点検、自家用電気工作物保安、消防設備保守点検、浄化槽維持管理、受水槽保守管理、窓ガラス清掃、プールろ過装置保守点検、自家用電気工作物保安業務、給食配膳室室消毒		
	☐ 指定管理者	(名称)			
敷地	敷地面積	24,099.00㎡ (筆数) 3筆			
	用途地域	第二種中高層住居専用地域	防火地域	☐ 防火地域 ☐ 準防火地域 ☒ 指定なし	
現在の建物	竣工年月	昭和55年3月	改修年月	☐ 有 () ☒ 無	
	建築面積	1,467.00㎡	延床面積	6,509.00㎡	階数 地上4階
	構造	☐ SRC ☒ RC ☐ S			
電気設備	受電設備	☐ オープン ☐ フレーム ☒ キュービクル ☐ その他 ()			
	受電設備容量	250 KVA			
	自家発電設備	☐ 高圧 KVA	☐ 低圧 KVA	合計 0 台	☒ 無
	受電方式	☒ 一号柱 ☐ ピラー ☐ その他 ()			
	主要盤類	☒ 配電盤 1面 ☒ 電灯分電盤 1面 ☒ 動力制御盤 1面			
	変圧器	☒ 有 (合計 2 台・合計 250 KVA) ☐ 無			
	蓄電池設備	☐ 非常用 ☐ その他	合計 0 台	☒ 無	
	昇降機設備	☐ エレベーター 台 ☒ 小荷物専用 1台 ☐ その他 () 台	合計 1 台	☐ 無	
空調設備 (概要)	空調方式	☐ 中央 ☒ 個別 ☐ 併用 ☐ 無			
	熱源機器	☐ ボイラー kw	熱源	☐ 都市ガス ☐ プロパン ☐ 油	
		☐ 冷温水発生機 kw		☐ 電気 ☐ その他 ()	
		☐ 冷凍機 kw		☐ 都市ガス ☐ 油 ☐ その他 ()	
		☒ パッケージユニット		☐ 電気 ☐ その他 ()	
		☐ ヒートポンプ		☐ 電気 ☐ その他 ()	
		☐ その他 ()			
	ソーラーシステム	☐ 有 ☒ 無	蓄熱槽	☐ 有 ☒ 無	中央監視装置
備考					
衛生設備	給水方式	☐ 直結 ☒ 高置水槽 ☐ 圧力タンク ☐ ポンプ直送 ☒ その他 (受水槽)			
	給湯方式	☐ 中央方式 (☐ 貯湯ボイラー式 ☐ ソーラーシステム式) ☒ 局所方式 (☒ 貯湯式 ☒ 瞬時式) ☐ 併用方式 ()			
	排水処理	☐ 合流 ☒ 分流 ☐ その他 ()			
	プール設備	☒ 有 ☐ 無	中水設備	☐ 有 () ☒ 無	
	備考				
ガス設備	供給方式	☐ LPG ☒ 都市ガス (☐ 中圧 ☒ 低圧 ☐ 併用)			
	しゃ断弁	☒ 有 ☐ 無			
	備考				
防災設備	火災報知器	☒ 有 (受信機 1 窓 副受信機 台) ☐ 無			
	非常放送設備	☐ 有 ☒ 無	排煙設備	☐ 有 ☒ 無	
	連動装置	☐ 防火シャッター ☒ 防火戸 ☐ その他 () ☒ 無			
	消火設備	☒ 屋内消火栓 ☐ 屋外消火栓 ☐ スプリンクラー ☐ 泡消火 ☐ 水噴霧 ☐ 新ハロン ☐ 二酸化炭素 ☐ 粉末 ☐ ドレンチャー ☒ その他 (消火器)			
	備考				
その他機械設備					

2 施設利用状況

	H19年度	H20年度	H21年度	利用者の傾向（年齢層・地域性・利用の多い理由等）
総利用人数	329人	318人	314人	
各室 利用 人数	生徒数（1年）	118人	88人	
	生徒数（2年）	114人	115人	
	生徒数（3年）	97人	115人	
		人	人	
		人	人	

3 建設当時の記録及び施設の現状等

施設建設の経緯		・富士見土地区画整理施行による人口増加に伴い藤中学校の生徒数が急増したため、昭和56年4月から富士見中学校として開校する。（日本住宅公団＜現在の独立行政法人都市再生機構（JUR都市機構）＞が建設） ・開校当初 学級数：7学級 生徒数226名	
来館者用駐車場	☒ 有（収容台数：44台） ☐ 無		
借地・寄附・補助金等	借地の有無	☐ 有（面積） m ² （筆数） 筆（地権者数） 人 ☐ 敷地全体 ☐ 駐車場のみ ☐ その他（ ）	
		☒ 無	
	寄附の有無	☐ 有（内容）	
		☒ 無	
建設費補助金の有無		☒ 有（307,564,000円） ☐ 無	
鶴ヶ島市地域防災計画における避難所指定の有無		☒ 有 ☐ 無	
施設利用者の要望・意見等		・廊下のタイルを修繕してほしい ・外壁の剥離が多いので修繕してほしい ・空調の設置	
施設運営上の問題点等		・校舎全体が老朽化しているため大規模な改修が必要	
その他施設情報		・屋内運動場 建築年月：昭和55年3月 ・校舎耐震補強 平成20年度実施	

◆空調設備(詳細)

空調方式	☐ 中央	☒ 個別	☐ 併用	☐ 無
------	-----------------------------	--	-----------------------------	----------------------------

◆学校(富士見中学校)

	部屋数 ①	①のうち空調 有の部屋数	熱源機器の種類	熱源の種類
普通教室(特別支援学級除く)	11	0	無し	無し
特別支援学級	1	0	無し	無し
特別教室	15	0	無し	無し
コンピュータ教室	1	1	パッケージユニット 24000、7700kcal/h	電気
校長室・事務室	2	2	パッケージユニット 16kw	電気
職員室・保健室	2	2	パッケージユニット	電気
会議室	2	0	無し	無し
多目的室	3	0	無し	無し
教材室	1	0	無し	無し

◆舞台のある部屋の設備

部屋名 体育館			
---------	--	--	--

設 備	有 無	数量等	概 要
舞台	☒ 有 ☐ 無	69.0 m ²	
舞台照明	☒ 有 ☐ 無	1 式 基	舞台天井蛍光灯 スタンド式スポットライト1台
プロジェクター	☐ 有 ☒ 無	台	
スクリーン	☐ 有 ☒ 無	m ²	
音響設備	☒ 有 ☐ 無		・アンプ Panasonic WA-H120 ・ワイヤレスチューナーTOA WT-750 ・スピーカー(舞台袖2台)

記入した設備・備品の故障の有無及び状況

施設調査シート]

施設名	鶴ヶ島市立西中学校		所在地	埼玉県鶴ヶ島市大字下新田266番地	
所管部署	教育部 学校教育課				

1 施設の概要

設置目的	小学校における教育の基礎の上に、心身の発達に応じて、中等普通教育を実施するため。				
設置根拠法令等	学校教育法、中学校設置基準				
施設開設時期	昭和60年4月	施設職員数 (H22.4.1)	※指定管理者制度導入及び運営委託施設は、委任先の企業、団体等が配置している職員数		正職員 20 人 その他 4 人
現建物当初建設費	1,617,210,000円 ※H23.4.1現在の当該学校施設全体の再調達価格				
施設運営方法 (施設の維持管理等の運営方法)	☐ 直営				
	☒ 直営 (一部業務委託)	(委託内容)	空調設備保守点検、警備保障、清掃、小荷物昇降機保守点検、自家用電気工作物保安、消防設備保守点検、浄化槽維持管理、受水槽保守管理、窓ガラス清掃、プールろ過装置保守点検、自家用電気工作物保安業務、給食配膳室室消毒		
	☐ 指定管理者	(名称)			
敷地	敷地面積	31,714.00 m ² (筆数) 63 筆			
	用途地域	無指定	防火地域	☐ 防火地域 ☐ 準防火地域 ☒ 指定なし	
現在の建物	竣工年月	昭和60年3月	改修年月	☒ 有 (平成5年 他) ☐ 無	
	建築面積	1,528.00m ²	延床面積	7,432.00m ²	階 数 地上4階
	構造	☐ SRC ☒ RC ☐ S			
電気設備	受電設備	☐ オープン ☐ フレーム ☒ キュービクル ☐ その他 ()			
	受電設備容量	250 KVA			
	自家発電設備	☐ 高圧 KVA	☐ 低圧 KVA	合計	0 台 ☒ 無
	受電方式	☒ 一号柱 ☐ ピラー ☐ その他 ()			
	主要盤類	☒ 配電盤 1 面 ☒ 電灯分電盤 2 面 ☒ 動力制御盤 1 面			
	変圧器	☒ 有 (合計 3 台・合計 250 KVA) ☐ 無			
	蓄電池設備	☐ 非常用 ☐ その他 合計 0 台 ☒ 無			
	昇降機設備	☐ エレベーター 台 ☒ 小荷物専用 1 台 ☐ その他 () 台 合計 1 台 ☐ 無			
	備考				
空調設備 (概要)	空調方式	☐ 中央 ☒ 個別 ☐ 併用 ☐ 無			
	熱源機器	☐ ボイラー kw	熱源	☐ 都市ガス ☐ プロパン ☐ 油	
		☐ 冷温水発生機 kw		☐ 電気 ☐ その他 ()	
		☐ 冷凍機 kw		☐ 都市ガス ☐ 油 ☐ その他 ()	
		☒ パッケージユニット		☐ 電気 ☐ その他 ()	
		☒ ヒートポンプ		☐ 電気 ☒ その他 (プロパン)	
	☐ その他 ()				
	ソーラーシステム	☐ 有 ☒ 無	蓄熱槽	☐ 有 ☒ 無	中央監視装置
備考					
衛生設備	給水方式	☐ 直結 ☒ 高置水槽 ☐ 圧力タンク ☐ ポンプ直送 ☒ その他 (受水槽)			
	給湯方式	☐ 中央方式 (☐ 貯湯ボイラー式 ☐ ソーラーシステム式)			
		☒ 局所方式 (☐ 貯湯式 ☒ 瞬間式)			
	排水処理	☐ 合流 ☐ 分流 ☒ その他 (合併処理浄化槽 405人槽)			
	プール設備	☒ 有 ☐ 無		中水設備	☐ 有 () ☒ 無
備考					
ガス設備	供給方式	☒ LPG ☐ 都市ガス (☐ 中圧 ☐ 低圧 ☐ 併用)			
	しゃ断弁	☒ 有 ☐ 無			
	備考				
防災設備	火災報知器	☒ 有 (受信機 1 窓 副受信機 台) ☐ 無			
	非常放送設備	☐ 有 ☒ 無		排煙設備	☐ 有 ☒ 無
	連動装置	☒ 防火シャッター ☐ 防火戸 ☐ その他 () ☐ 無			
	消火設備	☒ 屋内消火栓 ☐ 屋外消火栓 ☐ スプリンクラー ☐ 泡消火 ☐ 水噴霧 ☐ 新ハロン ☐ 二酸化炭素 ☐ 粉末 ☐ ドレンチャー ☒ その他 (消火器)			
	備考				
その他機械設備					

2 施設利用状況

	H19年度	H20年度	H21年度	利用者の傾向（年齢層・地域性・利用の多い理由等）
総利用人数	312人	310人	311人	
各室 利用 人数	生徒数（1年）	113人	93人	
	生徒数（2年）	105人	111人	
	生徒数（3年）	94人	106人	
		人	人	
		人	人	

3 建設当時の記録及び施設の現状等

施設建設の経緯		・昭和40年以降の急激な人口増加に伴い鶴ヶ島中学校の生徒数が急増したこと、及び当時この地域に中学校を誘致したいとの地元の声が多くあったため、昭和60年4月から西中学校として分離開校する。 ・開校当初 学級数：15学級 生徒624名	
来館者用駐車場	☒ 有（収容台数：42台） ☐ 無		
借地・寄附・補助金等	借地の有無	☐ 有（面積） m ² （筆数） 筆（地権者数） 人 【 ☐ 敷地全体 ☐ 駐車場のみ ☐ その他（ ）】 ☒ 無	
		☐ 有（内容） ☒ 無	
	建設費補助金の有無	☒ 有（648,984,000円） ☐ 無	
	鶴ヶ島市地域防災計画における避難所指定の有無	☒ 有 ☐ 無	
施設利用者の要望・意見等	・施設全体が老朽化しているため計画的に大規模改修を実施してほしい ・空調の設置		
施設運営上の問題点等	・校舎全体が老朽化しているため大規模な改修が必要		
その他施設情報	・屋内運動場 建築年月：昭和61年3月		

◆空調設備(詳細)

空調方式	☐ 中央	☒ 個別	☐ 併用	☐ 無
------	-----------------------------	--	-----------------------------	----------------------------

◆学校(西中学校)

	部屋数 ①	①のうち空調 有の部屋数	熱源機器の種類	熱源の種類
普通教室(特別支援学級除く)	10	0	無し	無し
特別支援学級	1	0	無し	無し
特別教室	14	0	無し	無し
コンピュータ教室	1	1	パッケージユニット 19100, 9600kcal/h	電気
さわやか相談室	1	1	パッケージユニット 20kw	電気
職員室	1	1	ヒートポンプ 20kw	プロパンガス
校長室・事務室・保健室	3	3	パッケージユニット	電気
会議室	2	0	無し	無し
学習室	1	0	無し	無し

◆舞台のある部屋の設備

部屋名 体育館				
設 備	有 無	数量等	概 要	
舞台	☒ 有 ☐ 無	81.5 m ²		
舞台照明	☒ 有 ☐ 無	1 基	フットライト 1 基	
プロジェクター	☐ 有 ☐ 無	1 台	EPSON LCD PROJECTOR MODEL:EMP-1815	
スクリーン	☒ 有 ☐ 無	8.5 m ²	縦 2.5m×横 3.4m	
音響設備	☒ 有 ☐ 無	一式	アンプ: PANASONIC CDプレーヤー: ONKYO C70S-FX スピーカー: 舞台袖(2台) 横(2台) 後ろ(2台)	
記入した設備・備品の故障の有無及び状況				

施設調査シート

施設名	鶴ヶ島市立南中学校		所在地	埼玉県鶴ヶ島市南町一丁目27番1号	
所管部署	教育部 学校教育課				

1 施設の概要

設置目的	小学校における教育の基礎の上に、心身の発達に応じて、中等普通教育を実施するため。					
設置根拠法令等	学校教育法、中学校設置基準					
施設開設時期	昭和60年4月	施設職員数 (H22.4.1) ※指定管理者制度導入及び運営委託 施設は、委任先の企業、団体等が配置している職員数	正職員	21人	その他 4人	
現建物当初建設費	1,437,710,000円 ※H23.4.1現在の当該学校施設全体の再調達価格					
施設運営方法 (施設の維持管理等の 運営方法)	☐ 直営					
	☒ 直営 (一部業務委託)	(委託内容)	空調設備保守点検、警備保障、清掃、小荷物昇降機保守点検、自家用電気工作物保安、消防設備保守点検、浄化槽維持管理、受水槽保守管理、窓ガラス清掃、プールろ過装置保守点検、自家用電気工作物保安業務、給食配膳室消毒			
	☐ 指定管理者	(名称)				
敷地	敷地面積	24,707.00㎡ (筆数) 1筆				
	用途地域	第一種中高層住居専用地域	防火地域	☐ 防火地域 ☐ 準防火地域 ☒ 指定なし		
現在の建物	竣工年月	昭和60年3月	改修年月	☐ 有 () ☒ 無		
	建築面積	1,589.00㎡	延床面積	7,204.00㎡	階数 地上4階	
	構造	☐ SRC ☒ RC ☐ S				
電気設備	受電設備	☐ オープン ☐ フレーム ☒ キュービクル ☐ その他 ()				
	受電設備容量	250 KVA				
	自家発電設備	☐ 高圧 KVA	☐ 低圧 KVA	合計 0台	☒ 無	
	受電方式	☒ 一号柱 ☐ ピラー ☐ その他 ()				
	主要盤類	☒ 配電盤 1面 ☒ 電灯分電盤 1面 ☒ 動力制御盤 1面				
	変圧器	☒ 有 (合計 2台・合計 250 KVA) ☐ 無				
	蓄電池設備	☐ 非常用 ☐ その他 合計 0台 ☒ 無				
	昇降機設備	☐ エレベーター 台 ☒ 小荷物専用 1台 ☐ その他 () 台 合計 1台 ☐ 無				
	備考					
空調設備 (概要)	空調方式	☐ 中央 ☒ 個別 ☐ 併用 ☐ 無				
	熱源機器	☐ ボイラー kw	熱源	☐ 都市ガス ☐ プロパン ☐ 油		
		☐ 冷温水発生機 kw		☐ 電気 ☐ その他 ()		
		☐ 冷凍機 kw		☐ 都市ガス ☐ 油 ☐ その他 ()		
		☒ パッケージユニット		☒ 電気 ☐ その他 ()		
		☒ ヒートポンプ		☐ 電気 ☒ その他 (都市ガス13A)		
		☐ その他 ()				
	ソーラーシステム	☐ 有 ☒ 無	蓄熱槽	☐ 有 ☒ 無	中央監視装置	☐ 有 ☒ 無
	備考					
衛生設備	給水方式	☐ 直結 ☒ 高置水槽 ☐ 圧力タンク ☐ ポンプ直送 ☒ その他 (受水槽)				
	給湯方式	☐ 中央方式 (☐ 貯湯ボイラー式 ☐ ソーラーシステム式) ☒ 局所方式 (☐ 貯湯式 ☒ 瞬時式) ☐ 併用方式 ()				
	排水処理	☐ 合流 ☒ 分流 ☐ その他 ()				
	プール設備	☒ 有 ☐ 無		中水設備	☐ 有 () ☒ 無	
	備考					
ガス設備	供給方式	☒ LPG ☐ 都市ガス (☐ 中圧 ☐ 低圧 ☐ 併用)				
	しゃ断弁	☒ 有 ☐ 無				
	備考					
防災設備	火災報知器	☒ 有 (受信機 1窓 副受信機 台) ☐ 無				
	非常放送設備	☐ 有 ☒ 無		排煙設備	☐ 有 ☒ 無	
	連動装置	☒ 防火シャッター ☐ 防火戸 ☐ その他 () ☐ 無				
	消火設備	☒ 屋内消火栓 ☐ 屋外消火栓 ☐ スプリンクラー ☐ 泡消火 ☐ 水噴霧 ☐ 新ハロン ☐ 二酸化炭素 ☐ 粉末 ☐ ドレンチャー ☒ その他 (消火器)				
	備考					
その他機械設備						

2 施設利用状況

	H19年度	H20年度	H21年度	利用者の傾向（年齢層・地域性・利用の多い理由等）
総利用人数	286人	298人	282人	
各室 利用人数				
生徒数（1年）	76人	112人	94人	
生徒数（2年）	106人	77人	111人	
生徒数（3年）	104人	109人	77人	
	人	人	人	
	人	人	人	

3 建設当時の記録及び施設の現状等

施設建設の経緯		・昭和40年以降の急激な人口増加に伴い鶴ヶ島中学校の生徒数が急増したため、川越鶴ヶ島土地区画整理事業の施行にあわせて建設し、昭和60年4月開校。 （住宅・都市整備公団＜現在の独立行政法人都市再生機構（UR都市機構）＞が建設） ・当初学級数：9学級 生徒数：308名 ・平成6年 10周年記念式典挙行 記念樹ケヤキ植樹 ・平成7年 10周年記念タイムカプセル埋設（校歌碑裏・15年後開封）	
来館者用駐車場	☒ 有（収容台数：31台） ☐ 無		
借地・寄附・補助金等	借地の有無	☐ 有（面積） m ² （筆数） 筆（地権者数） 人 【 ☐ 敷地全体 ☐ 駐車場のみ ☐ その他（ ）】	
		☒ 無	
	寄附の有無	☐ 有（内容）	
		☒ 無	
建設費補助金の有無		☒ 有（451,163,000 円） ☐ 無	
鶴ヶ島市地域防災計画における避難所指定の有無		☒ 有 ☐ 無	
施設利用者の要望・意見等		・老朽化により外壁の剥離による鉄筋の露出や塗装の剥がれが目立つため、専門的な点検・改修をしてほしい。 ・空調の設置	
施設運営上の問題点等		・校舎全体が老朽化しているため大規模な改修が必要	
その他施設情報		・屋内運動場 建築年月：昭和61年3月	

◆空調設備(詳細)

空調方式	☐ 中央	☒ 個別	☐ 併用	☐ 無
------	-----------------------------	--	-----------------------------	----------------------------

◆学校(南中学校)

	部屋数 ①	①のうち空調 有の部屋数	熱源機器の種類	熱源の種類
普通教室(特別支援学級除く)	9	0	無し	無し
特別支援学級	1	0	無し	無し
特別教室	15	0	無し	無し
コンピュータ教室	1	1	パッケージユニット 19100kcal/h	電気
校長室・事務室	2	2	ヒートポンプ 18kw	都市ガス 13A
職員室・保健室	2	2	パッケージユニット	電気
会議室	2	0	無し	無し
教材室	1	0	無し	無し

◆舞台のある部屋の設備

部屋名	体育館
-----	-----

設 備	有 無	数量等	概 要
舞台	☒ 有 ☐ 無	80.0 m ²	
舞台照明	☒ 有 ☐ 無	一式 基	ボーダーライト赤8基、緑14基、青6基 蛍光灯20本他に舞台そでの14本
プロジェクター	☐ 有 ☒ 無	台	
スクリーン	☐ 有 ☒ 無	m ²	
音響設備	☒ 有 ☐ 無		・パナソニック HighPower Amplifier WA-H120 ・TOA COMPACT Model CD-40 ・SONY stereoCasette DECK TC-K333ES

記入した設備・備品の故障の有無及び状況

--

施設調査シート

施設名	第一学校給食センター		所在地	鶴ヶ島市大字藤金574番地1	
所管部署	教育部 学校給食センター				

1 施設の概要

設置目的	学校給食法に基づき、鶴ヶ島市立の小学校及び中学校において学校給食を実施し、もって児童及び生徒の心身の健全な発達を図るため設置する。					
設置根拠法令等	鶴ヶ島市学校給食センターの設置及び管理に関する条例、鶴ヶ島市学校給食センター管理規則					
施設開設時期	昭和53年4月	施設職員数 (H22.4.1) ※指定管理者制度導入及び運営委託施設は、委任先の企業、団体等が配置している職員数		正職員16人・その他40人 ※第1第2センター合計		
現建物当初建設費	176,721,800円					
施設運営方法 (施設の維持管理等の運営方法)	☐ 直営					
	☒ 直営 (一部業務委託)	(委託内容)	給食配送、ボイラー運転・保守、施設清掃、警備保障、消防設備保守点検、自家用電気工作物保安・清掃、浄化槽維持管理・清掃、重油タンク清掃、冷凍冷蔵庫保守、換気設備点検・清掃			
	☐ 指定管理者	(名称)				
敷地 (給食センター敷地全体)	敷地面積	6,042.94 m ² (給食センター敷地全体)			(筆数) 1筆	
	用途地域	第一種低層住居地域	防火地域	☐ 防火地域 ☐ 準防火地域 ☒ 指定なし		
現在の建物	竣工年月	昭和53年5月	改修年月	☒ 有 (平成元年10月・平成2年8月) ☐ 無		
	建築面積	1,043m ²	延床面積	1,167.5m ²	階数 地上2階	
	構造	☐ SRC ☐ RC ☒ S				
電気設備 (全体)	受電設備	☐ オープン ☐ フレーム ☒ キュービクル ☐ その他 ()				
	受電設備容量	340 KVA				
	自家発電設備	☐ 高圧 KVA	☐ 低圧 KVA	合計	台	☒ 無
	受電方式	☒ 一号柱 ☐ ピラー ☐ その他 ()				
	主要盤類	☒ 配電盤 1面 ☒ 電灯分電盤 1面 ☒ 動力制御盤 1面				
	変圧器	☒ 有 (合計 4 台・合計 340 KVA) ☐ 無				
	蓄電池設備	☐ 非常用 ☐ その他	合計	台	☒ 無	
	昇降機設備	☐ エレベーター 台 ☐ 小荷物専用 台 ☐ その他 () 台	合計 台 ☒ 無			
	備考					
空調設備 (概要)	空調方式	☐ 中央 ☐ 個別 ☒ 併用 ☐ 無				
	熱源機器	☒ ボイラー 1254kw (1台) ×2台	熱源	☐ 都市ガス ☐ プロパン ☒ 油 (A重油)		
		☐ 冷温水発生機 kw		☐ 電気 ☐ その他 ()		
		☒ 冷凍機 46.3 kw		☐ 都市ガス ☐ 油 ☐ その他 ()		
		☒ パッケージユニット		☒ 電気 ☐ その他 ()		
		☒ ヒートポンプ		☒ 電気 ☐ その他 ()		
		☐ その他				
	ソーラーシステム	☐ 有 ☒ 無	蓄熱槽	☐ 有 ☒ 無	中央監視装置	☐ 有 ☒ 無
	備考					
衛生設備	給水方式	☐ 直結 ☒ 高置水槽 ☐ 圧力タンク ☐ ポンプ直送 ☒ その他 (受水槽)				
	給湯方式	☒ 中央方式 (☒ 貯湯ボイラー式 ☐ ソーラーシステム式) ☐ 局所方式 (☐ 貯湯式 ☐ 瞬時式) ☐ 併用方式 ()				
	排水処理	☐ 合流 ☐ 分流 ☒ その他 (合併処理浄化槽 100t・単独処理浄化槽 40人槽)				
	プール設備	☐ 有 ☒ 無	中水設備	☐ 有 () ☒ 無		
	備考					
ガス設備	供給方式	☒ LPG ☐ 都市ガス (☐ 中圧 ☐ 低圧 ☐ 併用)				
	しゃ断弁	☒ 有 ☐ 無				
	備考					
防災設備	火災報知器	☒ 有 (受信機 1 窓 副受信機 台) ☐ 無				
	非常放送設備	☐ 有 ☒ 無	排煙設備	☐ 有 ☒ 無		
	連動装置	☐ 防火シャッター ☐ 防火戸 ☐ その他 () ☒ 無				
	消火設備	☐ 屋内消火栓 ☐ 屋外消火栓 ☐ スプリンクラー ☐ 泡消火 ☐ 水噴霧 ☐ 新ハロン ☐ 二酸化炭素 ☐ 粉末 ☐ ドレンチャー ☒ その他 (消火器)				
	備考					
その他機械設備						

2 施設利用状況

	H19年度	H20年度	H21年度	利用者の傾向（年齢層・地域性・利用の多い理由等）
総利用人数	0人	0人	0人	
各室 利用 人数	人	人	人	
	人	人	人	
	人	人	人	
	人	人	人	
	人	人	人	

3 建設当時の記録及び施設の現状等

施設建設の経緯		鶴ヶ島市の学校給食は、昭和36年、鶴ヶ島第一小学校の単独調理校方式から開始され、昭和53年から共同調理場方式として第一学校給食センターが供用開始された。その後、児童生徒数（給食数）の増加に伴い、第一学校給食センターだけでは給食の供給が困難となったため、昭和59年から第二学校給食センターが新たに供用開始された。現在はこの2施設により市内小中学校全ての給食を提供している。 〔更新施設について〕 第一、第二学校給食センターは、開設後多年が経過し、経年により施設・設備機器とも老朽化が進行しており、衛生管理面の脆弱さなどの課題もあり、安全でおいしい給食を安定的に提供するため、更新施設の整備が急務となっている。また、社会経済情勢や厳しい財政状況により、効果的・効率的な施設整備・管理運営が強く求められているため、現在PFIによる施設更新が進められている。 平成20年度～21年度、学校給食センター基本計画等策定業務により、更新施設の基本計画の策定とPFI手法を含めた整備手法等の調査・検討を実施し、平成22年度～23年度、学校給食センター更新施設整備事業PFIアドバイザー業務により、PFI手法の推進に伴い、専門の見地からの調査、検討及び支援を受け、民間事業者の選定等を実施した。現在、更新施設による供用開始を平成25年9月から予定している。			
来館者用駐車場	☒ 有（収容台数：給食センター全体【第一及び第二センター】で48台） ☐ 無				
借地・寄附・補助金等	借地の有無	☐ 有（面積） m ² （筆数） 筆（地権者数） 人 ☐ 敷地全体 ☐ 駐車場のみ ☐ その他（ ）			
		☒ 無			
	寄附の有無	☐ 有（内容）			
		☒ 無			
建設費補助金の有無	☒ 有（46,850千円） ☐ 無				
鶴ヶ島市地域防災計画における避難所指定の有無	☐ 有 ☒ 無				
施設利用者の要望・意見等					
施設運営上の問題点等	施設や備品等の故障・損壊が増加傾向にあり、給食業務に直接影響することもあるため、対応に大変苦慮している。				
その他施設情報	現施設の老朽化に伴い、更新施設による運用が平成25年9月から予定されている。				

◆空調設備(詳細)

空調方式	☐ 中央	☐ 個別	☒ 併用	☐ 無
------	-----------------------------	-----------------------------	--	----------------------------

◆公民館等(第1学校給食センター)

部 屋	空調有無	熱源機器の種類	熱源の種類
事務室	有	ボイラ・冷凍機・パッケージユニット	A重油・電気・電気
下拵室	有	ヒートポンプ	電気
調理室	有	ボイラ	A重油
発送室	有	ボイラ	A重油
会議室	有	ボイラ・冷凍機	A重油・電気
医務室	有	ボイラ・冷凍機	A重油・電気
男子休憩室	有	ボイラ・冷凍機・パッケージユニット	A重油・電気・電気
女子休憩室	有	ボイラ・冷凍機・パッケージユニット	A重油・電気・電気

◆舞台のある部屋の設備

部屋名			
-----	--	--	--

設 備	有 無	数量等	概 要
舞台			
舞台照明			
プロジェクタ			
スクリーン			
音響設備			
記入した設備			

該 当 な し

施設調査シート

施設名	第二学校給食センター		所在地	鶴ヶ島市大字藤金574番地1	
所管部署	教育部 学校給食センター				

1 施設の概要

設置目的	学校給食法に基づき、鶴ヶ島市立の小学校及び中学校において学校給食を実施し、もって児童及び生徒の心身の健全な発達を図るため設置する。					
設置根拠法令等	鶴ヶ島市学校給食センターの設置及び管理に関する条例、鶴ヶ島市学校給食センター管理規則					
施設開設時期	昭和59年4月	施設職員数(H22.4.1)	※指定管理者制度導入及び運営委託 施設は、委任先の企業、団体等が配置している職員数		正職員16人・その他40人 ※第1第2センター合計	
現建物当初建設費	374,248,000円					
施設運営方法 (施設の維持管理等の 運営方法)	☐ 直営					
	☒ 直営(一部業務委託)	(委託内容)	給食配送、ボイラー運転・保守、施設清掃、警備保障、消防設備保守点検、自家用電気工作物保安・清掃、浄化槽維持管理・清掃、重油タンク清掃、冷凍冷蔵庫保守、換気設備点検・清掃			
	☐ 指定管理者	(名称)				
敷地(給食センター敷地全体)	敷地面積	6,042.94㎡(給食センター敷地全体)			(筆数) 1筆	
	用途地域	第一種低層住居地域	防火地域	☐ 防火地域 ☐ 準防火地域 ☒ 指定なし		
現在の建物	竣工年月	昭和59年3月	改修年月	☐ 有(年 月) ☒ 無		
	建築面積	806.23㎡	延床面積	984.99㎡	階数 地上2階	
	構造	☐ SRC ☒ RC ☐ S				
電気設備 (全体)	受電設備	☐ オープン ☐ フレーム ☒ キュービクル ☐ その他()				
	受電設備容量	340 KVA				
	自家発電設備	☐ 高圧 KVA	☐ 低圧 KVA	合計	台	☒ 無
	受電方式	☒ 一号柱 ☐ ピラー ☐ その他()				
	主要盤類	☒ 配電盤 1面 ☒ 電灯分電盤 1面 ☒ 動力制御盤 1面				
	変圧器	☒ 有(合計 4 台・合計 340 KVA) ☐ 無				
	蓄電池設備	☐ 非常用 ☐ その他	合計	台	☒ 無	
	昇降機設備	☐ エレベーター 台	☐ 小荷物専用 台	☐ その他()	台	
	備考					
空調設備 (概要)	空調方式	☐ 中央 ☐ 個別 ☒ 併用 ☐ 無				
	熱源機器	☒ ボイラー 1254kw (2センター全体) ×2台	熱源	☐ 都市ガス ☐ プロパン ☒ 油(A重油)		
		☐ 冷温水発生機 kw		☐ 電気 ☐ その他()		
		☒ 冷凍機 218 kw		☐ 都市ガス ☐ 油 ☐ その他()		
		☒ パッケージユニット		☒ 電気 ☐ その他()		
		☐ ヒートポンプ		☐ 電気 ☐ その他()		
		☐ その他				
	ソーラーシステム	☐ 有 ☒ 無	蓄熱槽	☐ 有 ☒ 無	中央監視装置	☐ 有 ☒ 無
	備考					
衛生設備	給水方式	☐ 直結 ☒ 高置水槽 ☐ 圧力タンク ☐ ポンプ直送 ☒ その他(受水槽)				
	給湯方式	☒ 中央方式(☒ 貯湯ボイラー式 ☐ ソーラーシステム式)				
		☐ 局所方式(☐ 貯湯式 ☐ 瞬時式)				
		☐ 併用方式()				
	排水処理	☐ 合流 ☐ 分流 ☒ その他(合併処理浄化槽 75t・単独処理浄化槽 40人槽)				
	プール設備	☐ 有 ☒ 無	中水設備	☐ 有() ☒ 無		
備考						
ガス設備	供給方式	☒ LPG ☐ 都市ガス(☐ 中圧 ☐ 低圧 ☐ 併用)				
	シャ断弁	☒ 有 ☐ 無				
	備考					
防災設備	火災報知器	☒ 有(受信機 1窓 副受信機 台) ☐ 無				
	非常放送設備	☐ 有 ☒ 無	排煙設備	☐ 有 ☒ 無		
	連動装置	☐ 防火シャッター ☐ 防火戸 ☐ その他() ☒ 無				
	消火設備	☐ 屋内消火栓 ☐ 屋外消火栓 ☐ スプリンクラー ☐ 泡消火 ☐ 水噴霧				
		☐ 新ハロン ☐ 二酸化炭素 ☐ 粉末 ☐ ドレンチャー ☒ その他(消火器)				
備考						
その他機械設備						

2 施設利用状況

	H19年度	H20年度	H21年度	利用者の傾向（年齢層・地域性・利用の多い理由等）
総利用人数	人	人	人	
各室利用人数	人	人	人	
	人	人	人	
	人	人	人	
	人	人	人	
	人	人	人	

3 建設当時の記録及び施設の現状等

施設建設の経緯		鶴ヶ島市の学校給食は、昭和36年、鶴ヶ島第一小学校の単独調理校方式から開始され、昭和53年から共同調理場方式として第一学校給食センターが供用開始された。その後、児童生徒数（給食数）の増加に伴い、第一学校給食センターだけでは給食の供給が困難となったため、昭和59年から第二学校給食センターが新たに供用開始された。現在はこの2施設により市内小中学校全ての給食を提供している。 〔更新施設について〕 第一、第二学校給食センターは、開設後多年が経過し、経年により施設・設備機器とも老朽化が進行しており、衛生管理面の脆弱さなどの課題もあり、安全でおいしい給食を安定的に提供するため、更新施設の整備が急務となっている。また、社会経済情勢や厳しい財政状況により、効果的・効率的な施設整備・管理運営が強く求められているため、現在PFIによる施設更新が進められている。 平成20年度～21年度、学校給食センター基本計画等策定業務により、更新施設の基本計画の策定とPFI手法を含めた整備手法等の調査・検討を実施し、平成22年度～23年度、学校給食センター更新施設整備事業PFIアドバイザリー業務により、PFI手法の推進に伴い、専門的見地からの調査、検討及び支援を受け、民間事業者の選定等を実施した。現在、更新施設による供用開始を平成25年9月から予定している。			
来館者用駐車場	☒ 有（収容台数：第一学校給食センターと一体） ☐ 無				
借地・寄附・補助金等	借地の有無	☐ 有（面積） m ² （筆数） 筆（地権者数） 人 【 ☐ 敷地全体 ☐ 駐車場のみ ☐ その他（ ）】			
		☒ 無			
	寄附の有無	☐ 有（内容）			
		☒ 無			
建設費補助金の有無	☒ 有（6,682千円） ☐ 無				
鶴ヶ島市地域防災計画における避難所指定の有無	☐ 有 ☒ 無				
施設利用者の要望・意見等					
施設運営上の問題点等	施設や備品等の故障・損壊が増加傾向にあり、給食業務に直接影響することもあるため、対応に大変苦慮している。				
その他施設情報	現施設の老朽化に伴い、更新施設による運用が平成25年9月から予定されている。				

◆空調設備(詳細)

空調方式	☐ 中央	☐ 個別	☒ 併用	☐ 無
------	-----------------------------	-----------------------------	--	----------------------------

◆公民館等(第2学校給食センター)

部 屋	空調有無	熱源機器の種類	熱源の種類
事務室	有	ボイラ・冷凍機	A重油・電気・電気
更衣室	無	なし	なし
調理室	有	ボイラ	A重油
放送室	有	ボイラ	A重油
会議室	有	ボイラ・冷凍機	A重油・電気
男子休憩室	有	ボイラ・冷凍機・パッケージユニット	A重油・電気・電気
女子休憩室	有	ボイラ・冷凍機・パッケージユニット	A重油・電気・電気

◆舞台のある部屋の設備

部屋名			
-----	--	--	--

設 備	有 無	数量等	概 要
舞台	☐ 有 ☐ 無	m ²	
舞台照明			
プロジェクター			
スクリーン			
音響設備			
記入した設備			

該 当 な し

施 設 調 査 シ ー ト

施設名	鶴ヶ島市立教育センター（旧庁舎） （平成23年5月9日移転により脚折1562番地1建物閉鎖）		所在地	鶴ヶ島市大字脚折1562番地1	
所管部署	教育部 教育センター				

1 施設の概要

設置目的	教育の充実と振興を図るため、地方教育行政の組織及び運営に関する法律に基づき設置					
設置根拠法令等	鶴ヶ島市立教育センター条例					
施設開設時期	平成4年7月	施設職員数 (H22.4.1) ※指定管理者制度導入及び運営委託施設は、委任先の企業、団体等が配置している職員数		正職員	4 人 その他 8 人	
現建物当初建設費	348,300,000円 ※H23.4.1現在の再調達価格					
施設運営方法 (施設の維持管理等の運営方法)	☐ 直営					
	☒ 直営（一部業務委託）	(委託内容)	夜間警備業務、冷暖房フィルター清掃業務、受水槽清掃及び保守点検業務、自動ドア保守点検業務、浄化槽維持管理及び清掃業務、植木剪定業務、清掃業務			
	☐ 指定管理者	(名称)				
敷地	敷地面積	2,862.69㎡ (筆数) 1 筆 (一部)				
	用途地域	第一種住居専用地域（県道から25m以降：第一種中高層住居専用地域）	防火地域	☐ 防火地域 ☒ 準防火地域 ☐ 指定なし		
現在の建物	竣工年月	昭和40年7月	改修年月	☒ 有（平成4年3月） ☐ 無		
	建築面積	602.255㎡	延床面積	1505.21㎡	階 数 地上3階、PH1階	
	構造	☐ SRC ☒ RC ☐ S				
電気設備	受電設備	☐ オープン ☐ フレーム ☐ キュービクル ☒ その他（引込盤）				
	受電設備容量	200 KVA				
	自家発電設備	☐ 高圧 KVA	☐ 低圧 KVA	合計 台	☒ 無	
	受電方式	☒ 一号柱 ☐ ピラー ☐ その他（ ）				
	主要盤類	☒ 配電盤 2 面 ☒ 電灯分電盤 4 面 ☒ 動力制御盤 3 面				
	変圧器	☒ 有（合計 2 台・合計 200 KVA） ☐ 無				
	蓄電池設備	☐ 非常用 ☐ その他	合計 台	☒ 無		
	昇降機設備	☐ エレベーター 台 ☐ 小荷物専用 台 ☐ その他（ ） 台	合計 台 ☒ 無			
	備考					
空調設備 (概要)	空調方式	☐ 中央 ☒ 個別 ☐ 併用 ☐ 無				
	熱源機器	☐ ボイラー kw	熱源	☐ 都市ガス ☐ プロパン ☐ 油		
		☐ 冷温水発生機 kw		☐ 電気 ☐ その他（ ）		
		☐ 冷凍機 kw		☐ 都市ガス ☐ 油 ☐ その他（ ）		
		☐ パッケージユニット		☐ 電気 ☐ その他（ ）		
		☒ ヒートポンプ		☐ 電気 ☐ その他（ ）		
		☐ その他				
	ソーラーシステム	☐ 有 ☒ 無	蓄熱槽	☐ 有 ☒ 無	中央監視装置	☐ 有 ☒ 無
	備考					
衛生設備	給水方式	☐ 直結 ☐ 高置水槽 ☐ 圧力タンク ☐ ポンプ直送 ☒ その他（受水槽）				
	給湯方式	☐ 中央方式（ ☐ 貯湯ボイラー式 ☐ ソーラーシステム式 ） ☒ 局所方式（ ☒ 貯湯式 ☒ 瞬時式 ） ☐ 併用方式（ ）				
	排水処理	☐ 合流 ☒ 分流 ☐ その他（ ）				
	プール設備	☐ 有 ☒ 無	中水設備	☐ 有（ ） ☒ 無		
	備考					
ガス設備	供給方式	☒ LPG ☐ 都市ガス（ ☐ 中圧 ☐ 低圧 ☐ 併用 ）				
	しゃ断弁	☒ 有 ☐ 無				
	備考					
防災設備	火災報知器	☒ 有（受信機 1 窓 副受信機 0 台 ） ☐ 無				
	非常放送設備	☐ 有 ☒ 無	排煙設備	☐ 有 ☒ 無		
	連動装置	☐ 防火シャッター ☐ 防火戸 ☐ その他（ ） ☒ 無				
	消火設備	☐ 屋内消火栓 ☐ 屋外消火栓 ☐ スプリンクラー ☐ 泡消火 ☐ 水噴霧 ☐ 新ハロン ☐ 二酸化炭素 ☐ 粉末 ☐ ドレンチャー ☒ その他（消火器）				
	備考					
その他設備						

2 施設利用状況

		H 1 9 年度	H 2 0 年度	H 2 1 年度	利用者の傾向（年齢層・地域性・利用の多い理由等）
総利用人数			人	6,620 人	教職員研修（初任者から校長先生まで）の利用が多いことから、20代から60代まで幅広い年齢層の利用となっている。コンピュータ室については、シニアが主に利用している。 ※平成21年度の利用人数については、推定による。
各室 利用 人数	第1会議室（収容人数18人）	統計 データ なし	人	936 人	
	第2会議室（収容人数18人）		人	612 人	
	研修室（収容人数81人）		人	3,120 人	
	コンピュータ室（収容人数40人）		人	1,220 人	
	第1相談室（収容人数4人）		人	460 人	
	第2相談室（収容人数4人）		人	16 人	
	第3相談室（収容人数6～8人）		人	256 人	
			人	人	

3 建設当時の記録及び施設の現状等

施設建設の経緯	教育センター（旧庁舎）の建物は、役場庁舎として昭和40年に建設され、当時としては入間郡下でもトップクラスの規模を有する近代的な庁舎であった。その後、急激な人口増加と多様な行政需要への対処に支障をきたす状況になったことから新庁舎が建設され、旧庁舎は平成2年4月末をもって閉庁となった。 それまで教育センターは、鶴ヶ島第二小学校の空き教室を活用して、職員の研修、教育相談、就学支援等の業務を行っていたが、事務室等の狭あいなどから業務遂行に支障をきたす状況となっていた。そこで閉庁となった旧庁舎の活用について、市長部局と協議し、市の学校教育の拠点施設とすることが決定されたことから、平成3年に教育センターとして改修整備した。しかし、旧庁舎は現行の耐震基準による設計ではなく、設備等の老朽化も進んでおり、耐震補強工事が必要と見込まれていたが、行財政改革の観点から、市が現有する全ての施設を維持保全するには相当の経費が見込まれることから、代替え等が可能な施設については、統廃合の検討が必要な状況にあり、平成20年度実施計画の採択過程において「教育センター（旧庁舎）耐震診断・工事」は不採択とされ、老朽化対策、耐震補強工事等を行わず「公の施設」としては使用しないこととする方針（秘書政策課政策担当起案「教育センター（旧庁舎）の建物の活用の方向性について」平成21年12月24日市長決裁）が決定された。			
来館者用駐車場	☒ 有（収容台数：15台） ☐ 無			
借地・寄附・補助金等	借地の有無 ☐ 有（面積） m ² （筆数） 筆（地権者数） 人 【 ☐ 敷地全体 ☐ 駐車場のみ ☐ その他（ ）】 ☒ 無	☐ 有（面積） m ² （筆数） 筆（地権者数） 人 ☐ 敷地全体 ☐ 駐車場のみ ☐ その他（ ）】 ☒ 無		
	寄附の有無	☒ 有（内容）昭和40年に庁舎として建設された時の詳細が不明。 ☐ 無		
	建設費補助金の有無	☐ 有（ ）円 ☐ 無 ※昭和40年に庁舎として建設時の補助不明		
鶴ヶ島市地域防災計画における避難所指定の有無	☐ 有 ☒ 無			
施設利用者の要望・意見等				
施設運営上の問題点等	・電気容量が不足しており、パソコンの稼動に支障をきたすことが多い。 ・諸設備の老朽化が激しく故障等多いが、予算がないため修理できない状況である。			
その他施設情報	平成23年5月保健センターへ移転予定			